

出席停止について

このたび報告を受けました [] は学校保健安全法の規定により、出席停止の措置をとり、医師の許可があるまで登校できません（出席停止の期間は、欠席日数には加算されません）。

下記の用紙に医師の証明を受け、担任までご提出ください。なお、医師の証明がない場合は、出席停止の扱いとなりませんので、ご注意ください。

分類	病気の種類	出席停止の期間
第一種 感染症	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘瘡 南米出血熱、ペスト、マールブルグ熱、ラッサ熱、ポリオ、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、鳥インフルエンザ（H5N1） ※上記の他、 新型インフルエンザ等感染症、指定感染症及び新感染症	治癒するまで
第二種 感染症	インフルエンザ（鳥インフルエンザ（H5N1）を除く）	発症した後5日を経過し、かつ解熱後2日（幼児にあっては3日）を経過するまで
	百日咳	特有の咳が消失するまで、又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで
	麻疹	解熱後3日を経過するまで
	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	耳下腺、顎下腺又は舌下線の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで
	風疹	発疹が消失するまで
	水痘（みずぼうそう）	すべての発疹が痂皮化するまで
	咽頭結膜熱（プール熱）	主要症状が消退した後2日を経過するまで
	結核	病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで
	髄膜炎菌性髄膜炎	
第三種 感染症	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、その他の感染症	病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで
（条件によっては出席停止の措置が考えられる疾患）		
溶連菌感染症、ウィルス性肝炎、手足口病、伝染性紅斑 ヘルパンギーナ、マイコプラズマ感染症、感染性胃腸炎など		全身状態が悪いなど、医師の判断で出席停止を要する場合など

治癒証明書（感染症による出席停止解除証明）

HR () () 番 氏名 _____

病 名 _____

治療期間 平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日

上記のとおりであることを証明します。

平成 年 月 日

医療機関名

医師 氏名 _____

印